

長崎県におけるATL ウィルス母子感染防止 事業に関する研究

辻 芳 郎*
土 居 浩*
石 野 誠※

要約：成人T細胞白血病リンパ腫(ATLL)のウィルスであるHTLV-Iは、母乳中の感染細胞をとおして乳児に感染する経路が主であることを我々は発表してきた。長崎はHTLV-Iキャリアの多い地域であり、予防対策は急務である。昭和62年4月に事業連絡協議会が作られ、昭和62年10月から事業は開始された。

見出し語：HTLV-I母児感染，予防対策

①長崎県ATLウィルス母子感染防止研究協力事業連絡協議会運営要領の作成

1. 目的

ATL母子感染防止研究協力事業の円滑な推進を図るため、長崎県ATL母子感染防止研究協力事業連絡協議会(以下「連絡協議会」という)を設置する。

2. 構成

長崎県医師会、日本母性保護医協会長崎県支部、長崎県小児科医会、長崎大学医学部、国立長崎中央病院、長崎県をもって構成。

*長崎大学医学部小児科

※長崎県保健環境部

3. 役員

- (1)会長及び副会長は、委員の中から互選により選出する。
- (2)会長は会務を総理し、会議の議長となる。副会長は会長を補佐する。

4. 会議

- (1)会長は必要に応じ委員を招集し、連絡協議会を開催することができる。
- (2)連絡協議会は、研究協力事業の方針及び実施方法等、事業推進について必要な事項を協議する。

5. 庶務

連絡協議会の庶務は、長崎県保健予防課において行う。

6. その他

この要領に定めるもののほか、会議の運営について必要な事項は会長が定める。

7. 附則

この要領は、昭和62年4月14日から適用。

② A T L ウィルス母子感染防止研究協力事業 実施要領の作成

1. 目的

妊婦が A T L ウィルスを有する場合に母子感染によって、その子をキャリア化することがあるため、母子感染をおこすおそれがある妊婦を発見し、その妊婦から出生した子に対しキャリア化防止を講じることにより、新たなキャリアの発生をなくし A T L 撲滅を図ることを目的とする。

2. 実施主体

本事業は、長崎大学医学部が実施している A T L 研究事業への協力事業として位置づけ、日本母性保護医協会長崎県支部が実施する。

3. 対象者

妊婦及び A T L 母子感染の可能性の高い乳児を対象とする。

4. 事業実施の方法

- 1) 県内の産婦人科医療機関は、妊婦から A T L 抗体検査の申し出があった場合は、この検査を実施するものとする。
- 2) 検査の時期は妊娠後期(28週以降)とし、妊婦より採血した血液を検査機関へ送り、A T L 抗体検査を行う。
- 3) 検査機関は、A T L 抗体検査を実施し、その結果疑陽性又は陽性と判定した場合には、長崎大学医学部細菌学教室に精密検査を依頼する。
- 4) 長崎大学医学部細菌学教室は、精密検査を行い、その結果は依頼を受けた検査機関に通知する。
- 5) 主治医は、A T L 抗体検査の結果について妊婦に説明し保健指導を行う。

5. 母子感染防止について

- 1) 主治医は、抗体陽性妊婦に対しては母子感染防止の必要性について説明する。
- 2) 母乳分泌抑制を希望した妊婦に対して適切な方法により母乳分泌の抑制を図る。

6. 対象乳児の追跡調査について

主治医は、母子感染防止を講じた乳児については、各地域の小児科専門医において定期的に検査を受けるよう指導する。

7. 費用について

本事業にかかる費用については、対象者の自己負担とする。

8. 秘密の保持及び目的外使用の禁止

医療機関の医師等、本事業の関係者は対象者の秘密保持に最大の配慮を払うとともに本事業により知り得た秘密を本事業の目的以外に使用しないものとする。

9. 周知徹底

日本母性保護医協会長崎県支部は、本事業の円滑な推進を図るため関係諸団体の協力を得て、保健及び医療関係者に対し、本事業の趣旨の周知徹底を図るとともにATL母子感染に関する正しい知識の普及に努めるものとする。

10. 事業の開始日

本事業は、昭和62年10月から開始するものとする。

③ ATLに関する知識の啓蒙

全県下の医師、助産婦、保健婦、看護婦に対し、機会あるたびに説明会を持ち啓蒙につとめた。

④ テキストの発行

1. 成人T細胞白血病リンパ腫ウィルス母子感染の予防指導者用テキスト
(昭和62年5月)
2. 成人T細胞白血病リンパ腫ウィルス母子感染の予防解説書 (昭和63年2月)

文献：

- 1) 成人T細胞白血病リンパ腫ウィルス母子感染の予防指導者用テキスト。長崎県ATLウィルス母子感染防止研究協力事業連絡協議会，1987。
- 2) 成人T細胞白血病リンパ腫ウィルス母子感染の予防解説書。長崎県ATLウィルス母子感染防止研究協力事業連絡協議会，1988。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:成人T細胞白血病リンパ腫(ATLL)のウイルスである HTLV・I は、母乳中の感染細胞をとおして乳児に感染する経路が主であることを我々は発表してきた。長崎は HTLV-1 キャリアの多い地域であり、予防対策は急務である。昭和 62 年 4 月に事業連絡協議会が作られ、昭和 62 年 10 月から事業は開始された。